

北大路書房 新刊書のご案内

法現象の単なる定性研究技法ではなく、社会現象のゆたかな経験的文脈観察としての「**質的探究**」(Qualitative Inquiry)の指針化を企図した体系論文集。実際に研究実践ないし批判的考察をとおして、その理論的・方法論的意義を考察。質的探究領域の現在地と今後の可能性を指し示す研究者必携の書。

質的探究 法社会学

榎村志郎 監修 和田仁孝，高橋裕，山田恵子 編

・序 法の質的探究の目標・方法・理論

第1部 法の質的探究——その構築

- ・質的探究の認識論的マッピング 和田仁孝
- ・科学者の人間モデルと社会成員の人間モデル——EMCA研究は「用いられるべき理由」を語るのか 小宮友根
- ・法の言説分析の可能性 仁木恒夫
- ・インタビュー・データの「質的」探究の可能性 山田恵子
- ・質的研究とドキュメント 土屋明広
- ・アフリカ民族誌を出来事の連なりで書く——願望と可能性を語る質的探究の試み 石田慎一郎
- ・法社会学研究における参与観察の可能性と課題 吉岡すずか
- ・規範，法，妥当——経験的研究のひとつのプログラム 高橋 裕

第2部 法の質的探究——その実践

- ・「エスノメソドロジー・会話分析」による「質的探究」——緊急通報における「法」の達成 北村隆憲
- ・質問-応答連鎖を通じた裁判員への知識提供——応答の宛先の選択に示された裁判官の指向の分析 森本郁代
- ・対話型調停過程に交錯するもう1つの力学 李 英
- ・コミュニケーション行為としての法情報——川島法学の受容研究からテキスト分析の価値を再考する 郭 薇
- ・「実験臨床法社会学」を可能にするものとしてのエスノメソドロジー 榎田美雄

第3部 法の質的探究をめぐる省察

- ・「法」の探究と「法則」の探究 阿部昌樹
- ・インタビュー調査とデータの基本的性質 藤原信行
- ・社会運動のエスノメソドロジー——質的探究の展開へ向けて 大塚 浩
- ・量的研究にとっての質的研究の意義——「責任」をめぐる議論の検討を通して 上石圭一
- ・榎村法社会学にみる法現象の質的探究——コメントに代えて 中山和彦
- ・etic/emicという対概念はEMCAにとってどのような意味を持つか 西澤弘行

2025年9月3日発売予定

A5・352頁・本体7,500円＋税

ISBN:978-4-7628-3292-5 C3032

書店番線印

部数

ご担当者

様

冊

※8月5日までのご注文は新刊委託条件にて承ります。

ご注文はこちら ▷ FAX: 075-431-9393

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町 12-8

TEL:075-431-0361

e-mail:eigy@kitaohji.com

HP:https://www.kitaohji.com

※店舗名の間違い，FAX がご不要な場合，誤着などの場合，お手ををおかけしますがお知らせください。